

# 基礎看護学実習 I 評価表

学籍番号 \_\_\_\_\_ 学生氏名 \_\_\_\_\_

担当教員 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

## 評価基準

5: 大変よくできた 4: よくできた 3: できた 2: あまりできなかった 1: まったくできなかった

評価内容	自己評価	教員
1) 入院患者の生活の場を知る。		
(1) 実習施設の特徴・構造・機能について表現できる。	5・4・3・2・1	
(2) 実習病棟の特徴・構造・機能について表現できる。	5・4・3・2・1	
2) 患者の全体像を把握する。		
(1) 患者とコミュニケーションをとることができる。	5・4・3・2・1	
(2) 患者の情報を、身体的・心理的・社会的側面から収集できる。	5・4・3・2・1	
(3) 看護に必要な情報を整理できる。	5・4・3・2・1	
(4) 患者の全体像を表現できる。	5・4・3・2・1	
3) 健康障害が日常生活に及ぼす影響を理解する。		
(1) 基本的欲求に対する観察の視点を活用して患者を観察できる。	5・4・3・2・1	
(2) 患者が自立して行えない日常生活行動を表現できる。	5・4・3・2・1	
(3) 患者が体験している苦痛が分かる。	5・4・3・2・1	
4) 患者の日常生活行動を援助することの意味を理解する。		
(1) 患者の充足できない日常生活行動について援助の必要性を判断できる。	5・4・3・2・1	
(2) 援助の目的や根拠・注意事項・具体的な援助内容を表現できる。	5・4・3・2・1	
(3) 看護技術の原理・原則を意識しながら実施できる。	5・4・3・2・1	
(4) 患者の反応を確認しながら援助できる。	5・4・3・2・1	
(5) 実施した結果を表現できる。	5・4・3・2・1	
(6) 結果に基づいた評価を表現できる。	5・4・3・2・1	
5) 専門家としての看護職に求められる能力について理解する。		
(1) 看護師の役割を表現できる。	5・4・3・2・1	
(2) 患者に関わる看護師以外の医療従事者を挙げることができる	5・4・3・2・1	
(3) 健康に留意し、主体的に実習に取り組むことができる。	5・4・3・2・1	
6) 実習記録		
(1) 実習記録を適切に記載できる。	5・4・3・2・1	
(2) 実習記録等を適切に取り扱うことができる。	5・4・3・2・1	